

# 中山間地域等直接支払制度の概要と平成 21 年度実施状況

「食料・農業・農村基本法」に基づき、平成 12 年度から 16 年度の 5 カ年間実施されましたが、平成 17 年度より新たな制度のもと直接支払制度が継続されることとなり、平成 21 年度で 5 年目(最終年)を迎えました。

## 中山間地域等直接支払制度とは

中山間地域等において、適切な農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産条件に関する不利を補正し、多面的機能の確保を図るための支援制度です。平成 17 年度の制度改正により、集落が取り組む内容によって交付金の単価が決定されるものとなりました。

## 陸別町における制度該当内容

不利な条件：積算気温が著しく低く、耕作地における草地比率が 70%以上である市町村  
 対象草地面積：4,453ha  
 交付金総額：74,715千円  
 交付金負担割合：

交付金総額	国(50%)	道(25%)	町(25%)
74,715千円	37,357千円	18,679千円	18,679千円

## 平成 21 年度実施状況

交付された交付金は、集落で決めた協定に基づく取組活動に使われます。陸別町は、全体を一つの集落として、100の個人・団体が参加しており、その取組内容は次のとおりです。

区分	主な取組内容	交付金の支出内容・金額
共同取組活動	運営委員報酬 延べ 20名×5千円=100千円 事務委託 委託先 陸別町農業協同組合 委託額 1,260千円/年額	委員報酬 100千円 事務委託 1,260千円
	鹿柵の定期的な点検 公共牧場草地の整備 農村環境の整備	鹿柵維持管理費 延長168.851km 2,520千円 公共草地整備 12,050千円 地域花壇整備 11カ所 550千円 廃農機具等処理 496千円
	農地保全マップ活動の実践 生産性・収益向上 有害鳥獣の駆除 多面的機能の発揮 学校教育との連携	草地整備改良 147.93ha 6,986千円 土壌診断 25千円 鹿(264頭)・熊(11頭)・鳥(383羽)駆除 676千円 猟銃・狩猟免許取得(1名) 100千円 鳥檻作成(4基) 1,320千円 小学校酪農学習会等実施経費 300千円
	積み立て 会議費 事務費	鹿柵維持管理積立金 20,279千円 会議費 9千円 事務費 15千円
直接支払		27,533千円
平成 21 年度交付金支出額		74,219千円

平成 21 年度交付金の残額については、平成 22 年度(第 3 期対策)の取組活動に繰り越しとなります。

## 平成 21 年度取組の成果

陸別集落では「農業生産活動として取り組むべき事項」に重点を置いて取り組みが行われており、草地の維持管理や耕作放棄地の発生防止について集落全体で取り組んでいます。また、集落全体に設置された鹿柵の維持管理、コントラクター事業における機械の共同化や多面的機能の発揮に係る学校教育との連携に取り組むことで地域農業の活性化が図られました。